

デザイン・ブランド戦略分科会セッション

◆ デザインドリブンイノベーション ◆

【セッションの内容】

本セッションでは、最近内外で注目されている「デザインドリブンイノベーション」に焦点を当てる。本分科会ではこれまでもデザインドリブンイノベーションについての研究を重ね、第三回研究会では、「デザインドリブンイノベーションの可能性～技術起点型イノベーションの限界をどうデザイン起点で超えるか：「スマートデザイン」運動のご提案～」と題して、本分科会の幹事である妹尾堅一郎氏（産学連携推進機構 理事長）の講演、討論を行った。

今回は、立命館大学においてデザインドリブンイノベーションの研究をされている新進の研究者後藤智氏を招き、基調講演をいただいたうえで、デザインとイノベーションに深くかかわってこられた本分科会幹事の平野哲行氏、杉光一成氏ほかによるパネルディスカッションを通じて、デザインドリブンイノベーションの意味と位置づけに迫る。

■ 基調講演 「デザインドリブンイノベーション -メディアとしての製品-

後藤 智氏（立命館大学グローバル MOT 研究センター客員研究員、立命館大学デザイン科学研究センター経営学部 DML 研究員）

■ パネルディスカッション「デザインドリブンイノベーションの意味と位置づけ」

<パネリスト>

平野哲行氏（株式会社平野デザイン設計代表取締役社長）

杉光一成氏（金沢工業大学大学院 知的創造システム専攻 教授）

後藤 智氏（前掲）

ほか分科会幹事ほかが参加予定。

<モデレーター>

橋本正洋氏（東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授）

■ 内容

デザインドリブンイノベーションとは、製品の「意味」のイノベーションであると後藤氏はとらえる。「このイノベーションには、デザインとは“ものの意味を与えること”という定義が前提となる。製品の意味は消費者一人一人が持つ文化や社会の流行に依存する解釈によって生まれるものである。それは、人が記号に対して解釈を行い、意味を見出す関係と同様である。そのため、デザインドリブンイノベーションの本質は製品を企業と消費者のコミュニケーションを成立させるための“メディア”と捉えることにある。」このように、基調講演では、テクノロジー・マネジメント論とメディア論の両方の観点から、デザインドリブンイノベーションを紐解いていく。

さらに、パネルディスカッションでは、当分科会の幹事から、ANAのトータルデザインでも著名な平野哲行氏、デザイン等の知財研究で著名な杉光一成氏らと講演者をパネラーとし、最近東工大イノベーションマネジメント研究科知財マネジメント専攻に移った橋本正洋氏がモデレーターを務めて、デザインドリブンイノベーションの本質に深く切り込んでいく。

デザイン・ブランド戦略分科会セッション

◆ デザインドリブンイノベーション ◆

【主な登壇者略歴】

- **後藤 智氏**（立命館大学理工学研究科産学連携ポスドク、立命館大学グローバル MOT 研究センター客員研究員、立命館大学デザイン科学研究センター経営学部 DML 研究員）

立命館大学理工学研究科修士課程においてロボティクスの研究を行った後、株式会社堀場製作所に入社し、蛍光 X 線分析装置の研究開発に従事。その後、立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科にて博士号を取得し、現職に至る。デザインマネジメントを専門とする。

業績：機械学会畠山賞受賞、日本ライフサポート学会 学会賞、第2回碩学舎賞 他多数
- **平野哲行氏**（株式会社平野デザイン設計代表取締役社長）

イリノイ工科大学建築学科卒業。NTT Docomo やコマツ、全日本空輸など日本大手企業のデザイン戦略のコンサルティングを担い、また建築分野においても、日本サッカー協会ビルの設立及びデザインコーディネーションを手掛ける。1990 年よりグッドデザイン賞審査委員を担当。現在、大阪大学、九州大学、東京工業大学、早稲田大学などの講師を勤め、イリノイ工科大学非常勤教授/スペシャルアドバイザー。“平成 25 年度産業財産権制度関係功労者表彰 経済産業大臣表彰(知財功労賞)”を受賞。復興庁企業連携プロジェクト支援事業アドバイザー。独立行政法人中小企業基盤整備機構 震災復興支援アドバイザー。
- **杉光一成氏**（金沢工業大学大学院 知的創造システム専攻 教授）

東京大学大学院（法学）修士課程修了、東北大学大学院（工学）博士後期課程修了。博士（工学）。株式会社東芝・知的財産部（在職中に弁理士試験合格）、特許事務所、経済産業省「産業競争力と知的財産を考える研究会」委員等を経て、金沢工業大学大学院教授・同知的財産科学研究センター長、知的財産教育協会専務理事（現在に至る）。主な著書（編著・共著含）に「理系のための法学入門」、「知的財産管理&戦略ハンドブック」などがある。日本工業所有権法学会正会員、著作権法学会会員、日本マーケティング学会会員、日本知財学会正会員。
- **橋本正洋氏**（東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授）

東京工業大学大学院修士課程システム科学専攻修了、東京大学大学院工学系研究科後期博士課程修了、博士（工学）。

1982 年通商産業省（現経済産業省）入省後、産業政策、エネルギー政策、産業技術政策、知財政策、国際標準政策に携わり、その間ジェトロジュネーブ事務所（国際標準）、大学連携推進課長（大学発ベンチャー1000 社計画ほか）、NEDO企画調整部長、特許庁審査業務部長（デザイン・ブランド戦略ほか担当）ほかを歴任。2012 年より早稲田大学理工学術院教授に出向、2014 年 8 月経済産業省を退官し、9 月より現職。専門はイノベーション政策、知財戦略、知財政策、技術経営。